

No.87.2004.5

也 未 迄

会 報

岩国市 錦帯橋



山口県土地家屋調査士会

CONTENTS



No.87 - 2004

5

着任の挨拶

山口地方法務局	局長	大本 哲	1
支部研修会関係			
周南支部研修会報告	周南支部長	戸倉 茂雄	2
防府支部	防府支部長	阿部 次男	2
山口支部	山口支部企画委員	平岡 真二	3
宇部支部	宇部支部企画委員	久保真珠美	4
表示登記の日「無料相談会」関係			
各支部無料相談会開催場所、相談件数			5
岩国支部報告	岩国支部長	大森 正秀	5
周南支部	周南支部長	戸倉 茂雄	6
防府支部	防府支部長	阿部 次男	6
山口支部	山口支部長	藤野 洋一	7
宇部支部	宇部支部長	西野 誠二	7
萩支部	萩支部長	片山修一郎	7
下関支部	下関支部企画委員長	清水 浩二	8
「表示登記の日」無料相談会の広報について			
	下関支部長	打越 充浩	8
中国ブロック新人研修会の参加報告			
	岩国支部	周原 稔	10
	宇部支部	豊川 奎植	11
	下関支部	八田 廣	11
	下関支部	米原 太一	12
山口法律関連士業ネットワーク合同研修会報告			
	山口支部	渡邊満洲生	13

会員の作るページ

「死」	岩国支部	中島 順一	14
「第20回日調連全国囲碁大会に参加して」			
	山口支部	渡邊満洲生	15
「貧乏ヨットマンから海へのお誘い」			
		匿名希望	16
「会員の活躍」		広報部	19

事務局だより

会員異動状況	20
会務報告	22
法務局の人事異動	23

広報部からのお知らせ

ホームページ及びメールアドレスの変更について	27
第57回定時総会案内	

着任のごあいさつ



山口地方法務局長 **大本 哲**

この度の人事異動で鳥取地方法務局から配置換になり、過日着任いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、平素、皆様から不動産の表示に関する登記制度の適正かつ円滑な運営に関し御協力いただいておりますことに対し、この機会に厚く御礼を申し上げます。

ところで、今年は、登記制度にとって大変重要な大きな節目の年になるのではないかと思います。皆様と関わりの大きなものだけ見ても、オンライン登記申請制度の導入に伴う不動産登記法の大幅な改正に加え、司法制度改革の重要な柱の一つであるADR（裁判外紛争処理制度）の創設に向けた動きが具体化しており、これらの動向から目が離せない実情にあります。

さらに、昨年6月、内閣に設置されている都市再生本部において、法務省・法務局と国土交通省等の関係機関が連携して全国都市部における登記所備付け地図の整備を今後10年間でおおむね完成させる、いわゆる「平成地籍整備」が政府の方針として決定され、今年度からその取組がいよいよスタートしました。私共にとりましては、長年の懸案であった地図整備が我が国の緊急かつ最重要施策の一つとして位置付けられたことは、正に画期的と言えます。

当局におきましても、これらの諸情勢を踏まえ、地図整備に本格的に取り組むための体制づくりの一環として、本局登記部門に「表示登記充実強化プロジェクト」を設置するとともに、今年度も、下関支局管内で法第17条地図の作製に取り組むなど、地図行政の積極的な推進に鋭意努める所存であります。今年度は、私ども法務局にとりましても正に正念場の年。真に国民の皆様方の信頼にこたえられる不動産登記制度の確立を図るため組織を挙げた取り組みを展開したいと考えておりますので、皆様方には引き続き暖かい御支援と御協力をお願い申し上げます。

最後に、山口県土地家屋調査士会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝を心より祈念いたします。着任のごあいさつといたします。

「周南支部研修会」

周南支部長 戸倉茂雄

周南支部は、3月5日、改正土地家屋調査士法施行後の報酬についての考え方の徹底について研修を行いました。

講師は、浦井副会長、林業務部長、石田理事の3人の方をお願いしました。



講師と支部会員との意見交換を主に研修を進めていきました。



法改正による多少の戸惑感のある意見や、報酬についての考え方以外にも、土地家屋調査士の職責についてなどの活発な論議がされた研修会でした。

講師の方々、参加された周南支部会員のみなさん、ありがとうございました。

支部研修会報告

防府支部長 阿部次男

防府支部では、本年度第3回支部研修会を本会、浦井副会長、林業務部長をお招きして開催致しました。「改正土地家屋調査士法施行後の報酬についての考え方の徹底」という

演題にて話をしていただいた。支部会員15名、他支部2名の計17名の参加により行われました。将来の調査士像について活発な意見が出されました。



平成15年度山口支部研修会の報告

山口支部企画委員 平岡真二

第1回

平成16年1月9日(金)午後2時から4時30分まで山口市スポーツの森(西京スタジアム)で、会員14名補助者5名が参加し仮想基準点測位(VRS-GPS)をテーマとして研修会を行った。内容は測量機器会社の講師による室内でのGPS及びVRSの概念と利用について講習を受けた後、戸外において既知点2点と簡単な地形測量のデモを電子平板に接続したGPSで測定し、比較のためトータルステーションで2点間の距離を検測しました。その後また室内において観測結果を比較しながら質疑応答を行った。

第2回

平成16年2月12日(木)午後2時から4時まで山口県土地家屋調査士会館3階で、山崎耕右会員を講師に迎え、会員15名補助者1名が参加し地籍図と公図の諸問題をテーマとして研修会を行った。内容は地籍図が17条地図として備え付けられるまでの色々な問題点及び17条地図の測量方法などを法務局在職時の

山崎会員の体験談を交えながらの研修会であった。

第3回

平成16年3月8日(月)午後2時から午後4時まで山口県土地家屋調査士会館3階で、本会業務部理事 白木博会員を講師に迎え、会員19名が参加し改正土地家屋調査士法施工後の報酬についての考え方の徹底をテーマとして研修会を行った。内容は「土地家屋調査士報酬額についてのガイドブック」を参考図書として重要事項を抜粋した研修内容であった。報酬額の研修の後には、調査士業務に無料で利用できる測量ソフトの説明があり、そのソフトの入手方法・パソコンへのインストール・パソコンの設定方法などをパソコン及びプロジェクターを使用しての研修を行った。

以上、山口支部は平成16年1月から3月の短期間に3回の研修会開催という強行軍にも係らず、参加された山口支部の皆さん、ありがとうございました。



(第1回研修会)



(第2回研修会)

宇部支部研修会 報告

宇部支部企画委員 久保真珠美

宇部支部では研修会を下記の通り行いました。

記

1. 日 時 平成16年1月17日(土) 14:00~17:00
平成16年1月18日(日) 9:00~11:00
2. 研修内容 17日 「調査士とGISについて」
18日 「法17条地図作成業務の報告(宇部市東萩原台団地)」
3. 場 所 小野田市宿泊施設「きらら交流館」(小野田市焼野)
4. 参加者 17日 (会員 23人、補助者 5人)
18日 (会員 15人、補助者 4人)

17日の前半は瀬口哲義会員に講師をお願いしました。現在のIT社会においては土地家屋調査士もGISの知識が必要になってくるし、また実際に使ってみるととても便利と言う事を実際にパソコンを使いながら、丁寧に説明してもらいました。後半は、それらを踏まえユート工業(株)と日本GPSソリューションズ(株)にお願いして、GPS測量についての講習を行いました。最初に室内でGPS測量についての説明をしてもらい、その後、外に出て実際にVRS-RTK-GPS測位を体験し、その成果を都市計画図の上に落とす作業を行いました。

18日は、15年6月~11月に、宇部地区で法17条地図作成業務が行なわれたので、その報告会を行いました。まず、松永秀治会員が、地図混乱地域に指定された経緯など業務の全体の流れを説明し、続いて板垣龍夫会員から基準点測量についての説明がありました。最後に瀬口哲義会員が2500分の1の都市計画図と調査図素図を重ね合わせた図で具体的な作業の説明を行いました。色も付いていてとてもわかりやすい図面でした。

2日間とも講義の後、活発な質疑応答が行なわれ、有意義な2日間でした。



平成16年度 「表示登記の日」無料相談開催場所・相談件数

日時	場所	相談件数
4月1日(木) 9:00~15:00	山口地方法務局岩国支局 岩国市錦見1丁目16-35	8
4月1日(木) 9:00~15:00	山口地方法務局柳井出張所 柳井市東土手5番1号	3
4月1日(木) 10:00~15:00	ザ・モール周南 1階 海の広場 下松市中央町21番3号	3
4月1日(木) 9:00~15:00	山口県公共嘱託登記 土地家屋調査士協会防府支所 防府市寿町1番19号	5
4月1日(木) 9:00~15:00	山口県土地家屋調査士会館 玄関ロビー 山口市惣太夫町2-2	5
4月1日(木) 9:00~15:00	山口地方法務局萩支局 地下1階会議室 萩市平安古町599の3	2
4月1日(木) 9:00~15:00	長門市物産観光センター 2階研究室 長門市正明市四区	1
4月4日(日) 10:00~15:00	フジグラン宇部 宇部市明神町三丁目1番1号	12
4月1日(木) 9:00~15:00	下関市役所 1階ロビー 下関市南部町1-1	6
合 計		45



「表示登記の日」無料相談会報告

岩国支部長 大森正秀

岩国支部では下記のとおり表示登記無料相談を行った

1. 日時 平成16年4月1日(木) 午前9時~午後3時
2. 実施場所 山口地方法務局岩国支局
山口地方法務局柳井出張所
3. 担当会員 岩国支局 4名 柳井出張所 4名
4. 相談内容 (岩国)
 - ・国土交通省の境界標の位置について
 - ・建物の増築について
 - ・農地の地目変更について
 - ・平成12年頃の山口県の分筆嘱託登記の残地部分の境界標が不明である
 - ・国土調査における合筆処理について
 - ・土地の境界がわからない
 - ・仮登記の土地を本登記するにはどうしたら良いか
 - ・共有名義の土地を分筆登記したい
 (柳井)
 - ・土地が知らないうちに町道として利用されて困っている
 - ・相続登記の必要書類を知りたい
 - ・相続した未登記建物を登記したい
5. 年齢構成 20歳以上40歳未満 1名
40歳以上60歳未満 2名
60歳以上 7名

ほとんどの相談者が市町村の広報紙を見て知ったようであり、新聞広告を見て来たという人はいなかった。

自分の土地の境界を確定しておくこと、建物はきちんと登記しておくことの重要性をもっと県民に知らしむべきことは土地家屋調査士の役目であり、義務であることを痛感した。

表示登記の日無料相談会

周南支部長 戸倉茂雄

周南支部は4月1日表示登記の日の無料相談会を、下松市のザ・モール周南1階の海の広場で開催しました。

前日の3月31日には海の広場前にあるサテライトスタジオから放送されているFM周南に出演し、土地家屋調査士の仕事内容や無料



相談風景

相談会の実施についてのPRをおこないました。

また、3月27日(土)の新聞に折り込まれるサンデー周南に表示登記の日の宣伝広告を掲載しました。

「4月1日表示登記の日」無料相談会開催

日 時：4月1日(木) 10:00~15:00
 場 所：ザ・モール周南 1階 海の広場
 下松市中央町21番3号

相談内容：土地の分筆、合筆、地積更正等の登記、
 土地の境界について、建物の新築、
 増築、滅失、区分等の登記

相談員：山口県土地家屋調査士会周南支部会員

お問い合わせ先 山口県土地家屋調査士会
 ☎083-922-5975

『表示登記の日』相談会報告

防府支部長 阿部次男

防府支部では本年度の『表示登記の日』相談会を4月1日に行いました。

例年のように折込みチラシへの掲載(2回)と市内発行の新聞『ほうふ日報』への広告掲載2回を行いました。



本年度は会場を山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会防府支部の事務所で行ったため、会場案内の看板を3枚作成致しました。来訪者は計6組10名を数え、年々増加しておりこの事業を継続して行く大切さを感じました。表示登記の大切さをこれからアピールしていきたいと思ひます。

「表示登記の日」無料相談会

表示登記、測量の専門家「土地家屋調査士」がご相談に応じます

●日 時/4月1日(木) 9:00~15:00
 ●場 所/社団法人山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 防府支所
 防府市海部1番19号(防府市役所本館北) ☎(0835)22-5639

●相談内容/永久借界権譲渡、境界確認、土地・建物の調査、測量、登記
 ●相 談 員/山口県土地家屋調査士会防府支部会員

(防 府 市)	田 村 求	松 田 光 則
	徳 本 富 士 男	山 根 康 男
阿 部 次 男	友 登 隆	山 本 三 喜 夫
石 田 豊	中 井 正 隆	
石 田 浩	西 山 雅 敏	(徳 地 町)
大 田 雄 二 郎	林 悦 男	
木 下 勝	林 俊 男	三 刀 房 康 之
杉 本 茂	橋 山 高 明	山 田 明
玉 田 哲 二 郎	相 田 雅 郎	

お問い合わせ先 ☎24-1008 支部長(阿部)まで

(防府案内3/25・3/26、ほうふ日報3/30掲載)

表示登記の日無料相談会の報告

山口支部長 藤野洋一

山口支部では下記の通り無料相談会を実施いたしました。

- 1 日 時 平成16年4月1日(木)
午前9:00から15:00まで
- 2 場 所 山口県土地家屋調査士会館
- 3 相談者数 5名
- 4 相談内容
相続物件(土地)の調査方法及び土地の面積確定方法について
建物表示変更と持分移転の予定
境界杭の設置について等々



表示登記の日無料相談会

宇部支部長 西野誠二

1. 日時 平成16年4月4日(日)10時~15時
2. 場所 宇部市明神三丁目 フジグラン宇部1階
3. 相談件数 12件

今年の役員会において、人出の多い場所で開いてはどうかとの意見があり今年にはフジグラン宇部において開催することとなった。フジグラン宇部の担当者と打ち合わせをしていたところ、4月1日の木曜日ではなく4月4日の日曜日に開催してはどうかと提案があったので、相談員の会員には気の毒であったが、より効果があるであろう、日曜日に開催することに決定した。

結果は、期待したほどの相談件数ではなかったが、例年と比較すると上向きの傾向が見えたのでさらに活動を継続して市民に覚えて

もらう催し物としたいものである。

地元のミニコミ紙、各市町の広報紙等に積極的に無料相談開催の掲載を働きかけたところ、今年は広報紙による来場者が8名を数えた。

これからは、広告だけでなく無料相談あるいは土地家屋調査士そのものを記事に取り上げてもらう等の努力がさらに必要と思われる。



表示登記の日無料相談会

萩支部長 片山修一郎

萩支部は4月1日表示登記の日の無料相談会を、例年通り山口地方法務局萩支局地下1階会議室にて開催いたしました。

事前の開催広告としては、萩支局管内の市

町村の広報誌に掲載してもらい、土地家屋調査士の仕事内容や無料相談会の実施についてのPRをおこないました。

表示登記の日無料相談会開催報告

下関支部企画委員長 清水浩二

会 場 下関市役所 1階ロビー
日 時 平成16年 4月 1日(木)
A M 9 : 00 ~ P M 3 : 00
相談件数 6件

昨年に比べて、相談件数は若干増えましたが、やはり相談者が少なく感じました。相談件数6件の内、新聞広告による相談者が3名、当日の看板を見ての相談者が3名でありました。

相談内容については、6件全て土地に関する。

- ・ 地籍調査における筆界未定について
- ・ 出入口の所有権について(2件)
- ・ 境界の確定に関して
- ・ 境界杭による嫌がらせについて

等の相談であり、非常に考えさせられる相談内容ばかりでありました。



表示登記の日、無料相談会の広報について

下関支部長 打越充浩

下関支部では本年度、市役所の市報に告知をする事が時間的な問題で不可能となり代替案をいろいろと考えました。新聞局に記事として取り上げてもらう方法、折込紙に広告記載する方法〔費用の問題あり〕等、新米支部長は頭が痛い。以前から周南支部が放送媒体を有効利用している様子を見て下関にもミニFM局があり、自分も移動の時には聞いているので思いきってFM局に広報のお願いに行くことに決定しました。

ただお願い文を持参しただけでは「無料で広報」というあつかましいお願いは聞いて頂けないと思い、いろいろ思案しましたが、下関には海峡ゆめタワーというシンボルがあり山口県所有で登記され、建物図面も存在するので関係資料を持参して「土地家屋調査士の仕事」をPRしたら多分興味を持ってイベントの告知くらいはしてくれるだろう?、多人数で押しかけたら少しは話しを聞いてくれるだろうと思い、打越(支部長)、無敵広報部長、

清水支部企画委員長の3名でお願いに行きました。

たまたま営業担当の方に説明する事ができ、計画どおり150mもあるシンボルタワーが9階建てで有ることと、FM局の所在地公図の地番が住居表示と違うのでFM局が興味を示し「制作部と協議します」との返事を頂いた。雨の振る中、三名が傘を差し遠くの駐車場まで歩きながら「告知だけは無料でしてもらえそう」と第一歩は成功だなと喜びながら帰りました。

会社に帰るなりすぐFM局からの電話で「表示登記の日」の当日にインタビューが可能かの問い合わせがあり、喜んで出ると返事をしました。その後、FM局から別紙の質問票が来たので内容を考え当日のインタビューに成りました。

1.日 時 平成16年 4月 1日 13:14から
2.場 所 下関市上田中町 カモンFM

3.出席者 打越充浩下関支部長
無敵良和広報部長
(ちょうさし博士の旗を持って)

以下、質問内容の返答です(要約)

「土地家屋調査士」とは？

打越：子供が生まれると市役所に出生届をだして戸籍を作る、これと同じように不動産(わかりやすくいえば)家が新築されたら「どこの土地にどのような家が建った」かを法務局という役所に登記をします、これを業としてできるのが……

住居表示と違う地番？

打越：昔は、年貢という物納(検地でチェック)明治政府は土地から税金(間接税)を取った。このとき管理するために地番を付けた。

例でいえば長府村大字印内字打越100番が、住居表示(所在の決定は市町村、法務局ではない)で長府町印内一丁目3番2号になり3ブロックの2番目という順番でそこに行ける事になった、所在が変わったが税金の管理する地番はそのまま引き継がれているため、住居表示と違う地番(長府町印内一丁目100番)が付いている。

海峡ゆめタワーは、実は登記上9階建てである？

打越：登記は不動産登記法という法律で管理されている、部屋の高さが1.5m以上で壁に囲まれた部分が登記できる。ゆめタワーは世界で唯一球状の展望台及び高さが150m?と聞いております、この展望台まで上がるエレベーター部分の空洞は床面積に算入されない為、登記上はこの空洞を押しつぶして9階建てで登記されている。

今回のイベントについて

無敵：山口県土地家屋調査士会では不動産登記の重要性を広く一般の方々に知って頂くため「4月1日を表示登記の日」と定め、表示登記に関する無料相談会を全国一斉に行い下関では本日、下関市役所 1階ロビーにて午

後3時まで開催いたします。

相談内容は

土地については、分筆・合筆・地目変更登記など

建物については、新築・増築・滅失登記など

特に、土地の境界でお困りの方はぜひご相談下さい。

下関支部会員が相談をお請けいたします。

お問い合わせ先

山口県土地家屋調査士会 0839 - 22 - 5975

又は

下関支部長 打越 0832 - 55 - 1008

まで

最後に一言

打越：こころの境界線が必要ですか

土地の境界は

明確にしておくことが大切です

だからといって

となりの人と

こころの壁のような境界線が

必要でしょうか

土地の、境界問題が

となりの人との感情的な問題に

発展する前に

お近くの土地家屋調査士に相談しませんか

専門家が解決のお手伝いをいたします。

初めての経験でプロ用マイクの前ではかなり緊張しました。カモンFMの可聴エリアは60万人でその内63%の人が聞いた事があるそうです。年齢層では20歳までが37%で、20~40歳までが47%聞いているそうです。比較的若い人が聞いていますが、来年は早めに有料の告知(3万円程度)をし、又、インタビューをしてもらい少しでも「土地家屋調査士」の名前をPRしたいと考えます。継続のみが必要と思ひ努力します。

例年、相談者は比較的高齢者の為、活字による告知は必要と考えます。

支部会員と話しをしていたら下関にはケーブルTV局があり、下関チャンネルという枠があり比較的高齢者は見ているとの情報を得たので来年は、FM局と同じ方法でTV局に挑戦してみるつもりです。

「中国ブロック新人研修会」に参加して

岩国支部 周原 稔

3/12～3/14(2泊3日)の日程で広島県土地家屋調査士会館において開催され参加させていただきました。

その中で、自身で印象深かったことについて、思いのままに書かせていただきます。第1に規制緩和の一環として、永年、保護を受けてきた報酬額が昨年撤廃されたことによる「報酬の考え方」での瀬口山口会会長の講話でした。

我々、新人にとって今後、何の目安もなく、自身の事務所運営に伴う、報酬をどのように定めていくかは、自由競争の中で仕事量の目測すら立たないまま、死活問題として、非常なる危機意識を再認識しました。(実務経験を持たない新人調査士においてはなおさらのことと思います。)今後、ますます価格破壊が起きてくることは自明の理のようにさえ思えます。

第2に「調査士の民事責任」で広島会顧問

弁護士的西垣先生の講話においては、私自身長年の補助者生活の中で、忘れがちになっていた調査士業務において発生する各責任問題が、今後は自分自身に直接振りかかってくる、いわゆる「調査士としての責任の重さ」を改めて思い出させていただき身の引き締まる思いでした。

第3に「懇親会」において年令を越えて山口会の方はもとより、他県の調査士の方々と交流し、再会を約束できたことは唯一清涼剤であり、今後共「同期の桜」としてあり続けたいと感じています。(ちょっと言葉が古くさい?それとも、もう死語?)

最後にお世話いただいた広島会の役員の皆様又山口会役員及び各会員の皆様に御礼申し上げますと共に、今後、山口会会員の一人として、よろしくお願い致します。

—以上—



中国ブロック新人研修会に参加して

宇部支部 豊川 奎植

3月12日から3日間、広島市の土地家屋調査士会館で、新人研修会が開催されました。

私のような初心者から、実務に精通した方まで43名の参加者でした。

冒頭、中国ブロック会長の挨拶だったと思いますが、調査士の基本姿勢は、当事者一方の主張に偏ることなく、資料など物証で公正に判断することであるとされました。

講義では、関連法規など幅広い知識が要求されていることを痛感し、また、職責の重さを再認識しました。

これから調査士にとって、オンライン申請、地籍整備、ADRの三つの変革期であるとのことです。(ハイレベルで難しい)

3日間を通して、山口県や他県の参加者と

交流できたことも、なによりです。

初心を忘れずに、研修会で得たことを今後役に立てたいと考えます。

お忙しい中、研修会を運営された役員の先生方、広島会の皆様にお礼申し上げます。



中国ブロック新人研修会に参加して

下関支部 八田 廣

3月12日からの3日間の日程で行われた中国ブロック新人研修会に参加致しました。

会場となった広島県土地家屋調査士会館において、初日は研修教材をもとに組織体系から業務会員心得まで幅広い内容の講義を受けました。内容的には基礎的なものから始まりましたが、研修用に配布していただいた新人研修テキストをはじめ、調査・測量実施要領、不動産表示登記取扱要領は決して軽く目を通す程度のものではなく、これからの実務経験を積んでいく上で必要な知識が掲載されており、再度精読しなければならないと痛感致しました。また夜には懇親会も開いていただき、研修会だけでは得ることのできない情報、意見交換ができ、また他県会の会員の方とも交流をもつことができ大変貴重な経験を得ることができ感謝しております。

2日目は外業、内業実習、3日目は調査士の民事責任、報酬の考え方、関連法規等の講義を聴き、気がつけば修了書授与となりました。私にとってあっという間の研修会でしたが、研修を受ける前と後では、明らかに自分にとって調査士としての自覚というもの変わった様に思えます。各会の役員の先生方が講義または雑談の中で語られた経験談を聞き、今日の調査士としての信頼を勝ち取るまでには相当な苦労があつてのことだと思われました。その貴重な経験、知識を惜しげもなく我々新人会員に伝えてくださったことに感謝の念でいっぱいです。最後になりましたが、我々新人会員のために研修会を運営していただいた広島会の役員の方々をはじめ、中国ブロック各調査士会の皆様にお礼申し上げます。

中国ブロック新人研修会に参加して

下関支部 米原太一

去る3月12日から14日までの間、広島県土地家屋調査士会館にて、平成15年度中国ブロック新人研修会に参加させて頂きました。

まず着いた初日は、中プロ会長の挨拶から始まり、鳥取、岡山、島根の各副会長の調査士の業務、会員心得など考えさせられる内容のお話を頂きました。補助者としての数年間業務について、ここまで深く考えた事はなく、これから業務を行っていく上で大変参考になりました。また、同じ中国ブロックでも各県によってさまざまな事情があるようで、(例えば、山口県は山番の公図がないとか)ただ登記のことだけでなく、その地域の歴史的な背景までも知っておく必要があるということをつくづく感じました。会員心得についても、改めて調査士の社会的責任の重大さを実感させられました。

夜は、懇親会ということで、山口会はもちろん色々な県の方々とお話をさせて頂きまし

た。何十年も補助者経験のある方、受験勉強だけの方、測量コンサルの方など、様々な方とお話をして、自分は、まだまだ経験も、人間としても出来てないなと考えさせられました。

2日目はいよいよ外業実習ということで、トータルステーションで測量して、コンピューターで計算という作業でした。正直、TSぐらいは据えられると思っていましたが、広島会の理事の方に「正式に据えてみ！」と言われてできなくて自信喪失……。今までいかに自己流だったのか痛感しました。

3日目、いよいよ最終日は、我らが瀬口会長の登場です。報酬の考え方や、個人的な経験談など興味深く聞かせていただきました。

最後に、大変有意義な3日間を提供して下さった中プロ会長、副会長、理事の方々、広島会の方々に深く感謝し、お礼申し上げます。



山口法律関連士業ネットワーク合同研修会に参加して

山口支部 渡邊満洲生

日 時：平成16年3月27日（土曜日）午後1時30分～午後3時30分

場 所：山口県土地家屋調査士会館 3階

演 題：“年金が危ない”頼りになるか！公的年金

講 師：社会保険労務士 綿谷和久先生

感 想：今時、国会でも年金の改正について与野党間でしのぎを削っている時でもあり、誰もが身近に感じながら、なかなか理解がむつかしく、それと云って無視できない重大なテーマだったこともあり、出席者は一様に関心を持っていた。

綿谷講師は年金の制度や受給資格・受給時期などについて、分かりやすく説明をされていたので、出席者は大筋において理解できた。

ただ予定していた時間が過ぎ、質問の時間がなかったのが少し残念だった。

（平成16年3月27日記）

参加士業：（出席人数）

不動産鑑定士協会.....	(3名)
弁理士会.....	(1名)
弁護士会.....	(2名)
行政書士会.....	(9名)
公認会計士協会.....	(2名)
司法書士会.....	(8名)
社会保険労務士会.....	(15名)
税理士会.....	(5名)
土地家屋調査士会.....	(12名)

合 計（57名）



《死》

岩国支部 中島 順一

人間、この世に「オギャー」と産まれて以来、好むと、好まざるとに、かかわらず全員、確実に死へ向って一歩、一歩進んでいる。

死にたくないと思っても、必ず死ぬのである。

長く生きようと、努力しても、たかが100年である。

地球の歴史を百科事典にたとえると、人類の歴史は百科事典の1ページにもならないと、何かに書いてあった。

人類の歴史からしても、個人の一生は、いかに短いことか！

そう考えると、短い一生は有効に使いたいと思う。

若いときは希望に燃えて生きていたが、これからは、心、安らかに死を迎えるにはどうすればよいか、考え行動する時期に入ったと思う。

例えば

自分のことだけでなく、ボランティア等を通じ社会のために、役立つことをする。

私は浄土真宗であり阿弥陀さまの教えを聞く。

まだあまり頭に浮かばないが・・・

死ぬときは、心やすらかに死にたい。

日本において、まともに、三度の食事ができるようになったのは、この何十年かである。私が子供の頃、「貧乏人は麦飯を食え」と政治家が言っていたし、米穀通帳という物があって、米は自由に、買うことができなかった。用事がないのに、動き回ると「腹が減るのに動くな」と言われた、ものである。

今では、反対に腹を減らすため、時間と費用をかけて、動くのである。

現在、世界の人口の三分の一は飢えに苦しんでいるという。

日本では、食べ過ぎて苦しんでいる。

一言で言えば、富の配分が上手く、いいないのである。

世界をみると、みんな一生懸命生きているし、生きたいのだ。

理想は、全人類が、三度の食事を自由に、摂れるように、成らないといけない。

それは、あの世に、いかないと無理というものか！

しかし、小さな、小さな、努力かもしれないが、私はやりたい。

そして、命ある限り一生懸命生き、自分が生きている証を実感したい。

(ア ユ) (岩国藩鉄砲隊)

「月間釣り情報」一月号掲載



午前3時頃 錦川 池ヶ迫にて
体長 32cm 重さ 390g
「アユ歴26年にて初の尺ものです」

修業中



はく製にしました

第 20 回 日調連全国囲碁大会に参加して

山口支部 渡邊 満洲生

1. 日 時：平成16年1月31日（土）午後0時30分～午後5時
平成16年2月1日（日）午前9時～午後3時
2. 場 所：東京都千代田区五番町 日本棋院「洗心の間」
3. 参加者：15単位会42名の会員（山口会 渡邊満洲生会員三段、谷村健一会員二段、長田幸三会員初段）
4. 山口会の成績
 - (1) 団体戦（3名1組） 3位
 - (2) 個人戦（初段以下6名参加） 長田幸三会員が優勝
 - (3) プロ棋士との対局：渡邊・長田両会員

が挑戦しましたが、見事に負かされました。

5. 感 想：親睦とは言え、勝敗を争う競技なので、勝ちを意識し、負けると悔しい。囲碁は全体のバランスを考えながら着手を進めていくもので、無理手を打つと、自ら墓穴を掘り、負けることになる。私は対局前から精神面で気負っていたこともあり、不本意な成績に終わった。来年は団体戦でぜひ優勝したい。（3年前の優勝の気分を未だに引きずっている。）あっ、勝ちを意識せずに親睦を深めることに意義があった！！

（平成16年2月6日 記）



長田幸三会員（初段）の対局風景



団体戦の山口会チーム

（写真中央の左から 長田幸三・谷村健一・渡邊満洲生各会員）



前列左側：王四段（プロ棋士）
前列右側：小松二段（プロ棋士）
後列中央：長田幸三会員（山口会・個人戦優勝!!）



前列左側：王四段（プロ棋士）
前列右側：小松二段（プロ棋士）
後列左側3人：山口会（団体戦3位）
後列中央2人：山形会・栃木会（団体戦優勝）
後列右側3人：茨城会（団体戦2位）

貧乏ヨットマンから海へのお誘い

匿名希望

海の広大さ、風のこち良さ、皆様は週末をどのように過ごされていますか？

私は、学生時代から乗っているクルージングヨットで週末を過ごしています。

自宅から30分で行けるヨットハーバーに30フィート（約9m）の中古ヨットを所有しています。一般的にヨットといえば金持ちの遊びととらえられていますが、実際は違います。お金が無くても乗りたいと思えばクルー（乗組員）としていくらでも乗ることができます。私も初めは熊本でクルーとして乗り、故郷に帰ってもクルーとして乗り（当時は船が少なかったので乗せてもらうまでだいぶ通いました）一時期、海から離れてバイクに乗っていましたが、その後レース艇の回航クルーとしてハウステンボス等に片道2日かけて船を移動するとか、レースに時々出て海を楽しんでいました。クルー最後のレース艇がレース中にマストを折ってしまいオーナーが船を手放してしまったので、思い切って中古艇を買いました。

金額は、1800cc 普通自動車の新車を買う程度です。ローンで支払っています。

自動車、誰でも買っていますよね！別にクラウンでも無いし、ましてやベンツの新車を買うのとは違い誰でも手が届きます。船の新艇でいえば家が一軒建つ金額です、上には切りがありません。私のハーバーにもこの不景気ですが半年に1艇ぐらいいは新艇が入ります、趣味の世界ですので一部のお金持ち及び共同オーナーがサイズアップをしています。

私が所属するヨットクラブは64名が会員です。オーナーが全員会員ですので64艇ヨット

がいるという全国でもまれなハーバーで、山口市及び福岡県から毎週多く通ってきます。

その内、お金持ちは1 / 5程度です。他は私と同じくヨットが好きで何かを我慢して費用を念出しています。最近、私のバース（停泊場所）斜め前の船が売れました。24フィートを60万円で4人の若者が共同で買いました。3年くらい乗っていなかったので上架して整備をしても100万円はかかりません。ハーバーの入会金が30万円（ゴルフの会員券より安い）なのでこれを4人で割れば一人33万円の出資で毎週、自分の好きな場所にいつでも行けます。高いですか？停泊料は年間フィート8千円ですので年間192,000円、市内の駐車場でも月1万円とすれば年12万円の固定費用は必要ですよ！それを4人で割れば安いものです。後は何回海に行くかの使用頻度との比較です。

ヨットに乗る人々は私が見るところ3パターンに分類できます。

- ・お金を掛けてでもレースで一番にならないといけない人、セール（帆）に100万円とか平気で投資し、常に最先端を研究しレーステクニックを磨きます。レース前には冬でもクルーが潜って船底を磨きます。
- ・私のクラブはヨットしか置く事が出来ないのヨットで毎週、釣りに行く人。1度もセールを上げて走るのを見たことが無い船もいます。
- ・そして私みたいに週末から船に泊まり、気が向けばセイリングをし、船の中で1日中過ごす事もある気分を癒すタイプに分かれます。

先ほども言いましたが半分以上は普通のサラリーマンです。

たとえばならJRマンが2名で船を持ち部品を自分たちで加工し、レースでは一番にならないといけない人。親が企業の社長で大型船を買ってもらいクルーも社員で固め、レースで一番でないといけない人。内科医、歯科医、企業の社長さん。牛乳屋さんが新艇で漁探を使い、今の時期なら魚がどこにいと頭に整理して大漁を目指す人。自衛隊のパイロットが訓練区域まで飛行する途中にハーバーを上空から見てヨットが気に入り中古艇を購入し、週末はほとんど船の中で過ごしている人。定年退職して夢であった外国に行くため退職金の一部で中古艇を買い、船に泊まりこんで現在準備をしている人、等みんな海が好きで集まります。

あるオーナーは部品代を貯める為、ヨット雑誌は人のものを1ヶ月遅れで読んでいる人もいます。

私も年に1回の上架で船底掃除は自分です。安く上げる為3艇同時に移動式クレーンで引き上げます。年に1度だけ中古艇が一番綺麗になる時です、愛情を込めてワックスもかけ整備します。船底塗料とクレーン代で3~5万円です、お金持ちはマリンサービスに全部してもらいます。

私の船はバンドフェット30という型で今、船齢が22年になります。日本で作られ200艇以上が浮かんでいるクルージング艇で、生産番号12番です。古い船ですが人気がありなかなか中古市場に出ません。私はこの船を10年以上は乗るつもりです、船の世界では整備すれば100年以上の船も珍しくありませんがやはり古くなると早く走りません、車と同じです。古いですが船内はチーク材をたくさん使っているので落ち着きます。私は小豆島の

造船所から3日かけて回航しました。レースでは船を軽くしないと早く走らないので、レースマンの定説として「爪楊枝は降ろさないが箸は船から下ろす」といい船内をカラカラにします。

所属クラブで月に1回、草レースがあります。レース艇からクルージング艇の大小がごっちゃで15艇前後が毎回参加します。参加費2千円で1日中遊べます。

当日の9時に艇長会議、10時スタート、レースのコースによりタイムリミットが決まります。遅くても16時です。ゴルフと同じようにヨットにも船の大きさ、性能によりハンデ（レーティング）があってそれにより修正タイムを出し着順を決定します。一般的には船に4~5人が乗りこんでセール（帆）の調整の仕方とルール上有利な位置に船を動かすテクニックにより優勝が決まります、当日表彰式もあり草レースのため参加者全員に賞が出ます。私は今の所クルーを取る気が無く一人で気楽に乗っているため、レースにも一人（シングル）で乗っています。船が古いのでいつもビリです。これは言い訳でありレーティングが有るので腕が良ければ上位にいけます。一度レーサーに乗ってもらい草レースに出場したら中間位まで行きました。スタートテクニック、走行中0.1度の角度を稼ぐ為の努力をすれば早く走る事が出来るのです。レーサーは数人が常にセールの微調整をし、他の船より数センチでも前と努力しているのに、私はビールを片手にCDを聞きながら走るのでやはりダメですね？

年に1度、シングルハンドレースとゆうのがあり4~5人が乗りこんで操るのがベストの船を一人で操り、誰が一番早いかを決めます。これには私は常に一人で乗っているのに勝たないといけないのですがやはり腕が無

く、いつもビリです。昨年はたまたまスピン（後ろからの風を受ける帆）を上げて走ったため中間位に入る事ができ自己満足しています。

私のバースはダブルと言って片側からしか船に乗ることが出来ません。コ字型の中に2艇が接岸します。そうは言っても船まで歩いていけます。船の前まで電気と水道がきてすぐに使える恵まれた環境で、私の船は陸電と言って船の中で電気製品が使えます。風が強くて出港できない時はキャビンの中でテレビを見て過ごします。土曜日から泊まります。船内にはトイレ、キッチンルームがあり料理も作れます。ベットは5人分のスペースがあります。土曜日の夜、私の船に人々が集まりヨット話しにふけるのが一番の楽しみです。今年は桟橋からぶら下げたカゴ（釣具店で500

円）にタコが毎週入っていました。多い週は3匹も入りそれを肴にして宴会です。

一人でふらっと海に出て2枚の帆を操り風の力だけで波を切って進むヨット、あなたもいかがですか？今が一番良い時期です。夏になると暑く風が無くてかないません。風が無いとヨットはただの箱です。ハーバーから2時間で行ける島があります、10時出港、12時着、昼食と島の観光をして16時にはハーバーに帰れるスポットがあります。広い海を共に走りませんか？今年は近場の遠征レースに出ようと考えています。又、一番ビリですが、回航、レースの前夜祭でのドンちゃん騒ぎが辞められません。

船名 HIRO 303



会員の活躍

広報部

平成16年3月20日、岩国市が世界に誇る名橋「錦帯橋」は半世紀ぶりの掛け替え工事が完了し、完成式典、渡り初めが盛大に行われた。

前日の19日には、岩国支部の浦井義明会員が所属する観光ボランティア団体「岩国巖流会」が主管となって、各界の著名人をパネリストにして「橋のシンポジウム」を錦帯橋のそばのホテルで開催した。

パネリストは映画監督の篠田正浩氏、彫刻家で前東京芸大学長の澄川喜一氏、錦帯橋架け替え工事棟梁の海老崎条次氏、岩国市長井原勝介氏の4名で、各氏は感性豊かなプロとして錦帯橋に対する思い出、将来への提言等を行った。

浦井会員は総合司会を務め、またシンポジウムの前後には、浦井会員秘蔵、岩国徴古館所蔵の錦帯橋に関する、宝暦時代の浮世絵から現代までの数十枚の写真集のスライド上映も行い、参加者を釘付けにした。

翌3月20日は、朝9時の完成記念桜植樹に始まり、夜9時までの五連の虹、ライトアップまで多彩な記念行事が行われた。

なかでも中島順一会員は、属する岩国藩鉄砲隊の一員として、周辺に轟く砲術を披露し錦帯橋の架け替え完成を祝った。また浦井会員は美少年「佐々木小次郎」を従えて、割れたくす玉の下で、伝統楽器篠笛による心をふるわす曲を水面に響かせ「時空間芸術」の創造に大活躍した。



1. 会員入会状況

	氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	はっ た ひろし 八 田 廣 (S46.11.6)	H16.1.13	〒750 0075 下関市彦島江の浦町一丁目 7番10号	(0832) 66 2409	(0832) 66 5561
	よね はら た いち 米 原 太 一 (S48.9.20)	H16.1.13	〒750 0017 下関市細江新町3番45号	(0832) 32 3031	(0832) 32 2162
	す はら みのる 周 原 稔 (S27.4.10)	H16.1.13	〒740 0013 岩国市桂町一丁目3番20号	(0827) 21 0516	(0827) 21 0533
	おさ だ たく や 長 田 拓 也 (S48.5.14)	H16.4.1	〒754 0002 吉敷郡小郡町大字下郷 2865番地の4	(083) 973 1413	(083) 973 1295

2. 会員脱会状況

支部	地区	氏名	脱会年月日	備考
周南	周南	山本紀夫	H16.2.19	脱会
山口	山口	福原嘉幸	H16.3.15	脱会

3. 事務所住所変更

支部	氏名	変更 年月日	変更事項	変更内容	TEL	FAX
周南	田中拓朗	H16.1.3	事務所	〒745 0816 周南市遠石三丁目6番26号	(0834) 33 0001	(0834) 33 0002
岩国	中村光長	H16.2.1	事務所	〒742 0111 柳井市大字日積8479番地の1	(0820) 28 1032	(0820) 28 1032
宇部	三坂規幸	H16.2.5	事務所	〒757 0001 厚狭郡山陽町大字厚狭1448番地の16	(0836) 72 1667	(0836) 72 2266

支 部	氏 名	変更 年月日	変更事項	変 更 内 容	T E L	F A X
周 南	乗 川 慎 二	H16 3 .1	住 所	〒745 0877 周南市大字徳山1006番地の1	(0834) 21 8133	
宇 部	本 光 誠 也	H16 3 .16	住 所	〒755 0151 宇部市大字西岐波808番地の17	(0836) 51 4031	

4 . TEL ・ FAX等変更

支 部	氏 名	変更事項	変更前	変更後
岩 国	尾 崎 友 浩	メールアドレス	doremi@mx51.tiki.ne.jp	rtj kf868@ybb.ne.jp
岩 国	村 田 昌 紀	メールアドレス	m-murata@do4.enjoy.ne.jp	m-murata@sky.icn-tv.ne.jp
岩 国	難 波 文 雄	メールアドレス	namba@mx5.tiki.ne.jp	office768230@helen.ocn.ne.jp
周 南	亦 賀 喜 忠	メールアドレス	新 規	eco.the-lion680@jasmine.ocn.ne.jp
山 口	渡 邊 英 雅	メールアドレス	hidew@ymg.urban.ne.jp	hidemasa@mbj.nifty.com

5 . 会員名簿正誤表（追加）

支 部	氏 名	事項	誤	正
岩 国	高 杉 富 美 江	氏名	高杉富美江	高杉富美江
岩 国	河 近 卓 美	事務所	柳井市大字日積8749番地の1	柳井市大字日積8479番地の1
防 府	阿 部 次 男	FAX	0835 25 3103	0835 23 3103
山 口	前 田 浩 史	FAX	083 934 9334	083 934 9344

会員名簿に上記のとおり誤りがありました。お詫びし訂正いたします。

会務報告

開催日	会 務	場 所
15. 12月20日(土)	日調連 インターネット座談会 12/20(土)~ 1/23(金)	
16. 1月6日(火)	会報編集会議	調 査 士 会 館
7日(水)	法務局との打合せ	山 口 地 方 法 務 局
14日(水)	第4回 理事会	調 査 士 会 館
	会報校正	調 査 士 会 館
15日(木)	法務局との打合せ	山 口 地 方 法 務 局
16日(金)	A D Rシンポジウム	東 京 都
	日調連新春交礼会	東 京 都
17日(土)	全国会長会議	東 京 都
29日(木)	本部業務部と支部企画委員との協議会	調 査 士 会 館
30日(金)	中国ブロック協議会 担当者会議	広 島 会 会 館
31日(土)	自主支部長会議	宇 部 市
2月1日(日)		
1月31日(土)	日調連親睦囲碁大会	日 本 棋 院
2月1日(日)		
12日(木)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	調 査 士 会 館
	総務・財務合同部会	調 査 士 会 館
24日(火)	本部研修会	ぱ る る プ ラ ザ 山 口
25日(水)	中国ブロック協議会 会長会議	岡 山 市
	中公連理事長との合同会議	岡 山 市
28日(土)	第4回境界鑑定委員会	調 査 士 会 館
3月3日(水)	会則校正会議	調 査 士 会 館
4日(木)	公嘱協会との打合せ	調 査 士 会 館
5日(金)	「境界問題解決センターふくおか」設立記念式典	福 岡 市
	周南支部研修会(講師派遣)	周 南 市
8日(月)	山口支部研修会(講師派遣)	調 査 士 会 館
12日(金)	中国ブロック協議会 新人研修会	広 島 市
13日(土)		
14日(日)		
16日(火)	会則最終校正	調 査 士 会 館
20日(土)	錦帯橋架けかえ完成式典へ取材	岩 国 市
23日(火)	研究室会議	調 査 士 会 館
26日(金)	防府支部研修会(講師派遣)	防 府 市
27日(土)	法律関連士業ネットワーク合同研修会	調 査 士 会 館
31日(水)	常任理事・支部長合同会議	調 査 士 会 館
4月6日(火)	法務局へ新年度あいさつ	山 口 地 方 法 務 局
	第1回 常任理事会	調 査 士 会 館
13日(火)	財務部会	調 査 士 会 館
15日(木)	会報編集会議	調 査 士 会 館

平成15年度末・平成16年度当初人事異動一覧表

平成16年4月1日現在

所属	職名	氏名	転出先	備考	後任者	所属・職名	備考
	局長	板谷 浩禎	長野局・局長		大本 哲	鳥取局・局長	
	次長	松田謙太郎					
総務	課長	難波 尊廣	広島局・総務管理官		宮平 進	福岡局・訟務部・訟務管理官	
総務	課長補佐	中島 清					
総務	庶務係長	岡野 光延					
総務	人事係長	小野村 悟					
総務	係員（登専）	杉原 誠二					
総務	係員（登専）	柳 晋一郎	萩・登記専門職	3/25付け	伊藤 一弘	下関登・登記専門職	3/25付け人事係へ
総務	係員（登専）	田中 裕幸					
総務	係員（登専）	益 佐 織					
総務	係員（登専）	安達多恵子	周南登・登記専門職	3/25付け	小田桐香苗	防府・登記専門職	3/25付け庶務係へ
総務	自動車運転手	田中 清之	会計課				
会計	課長	吉原 宏	法務大臣官房行政訟務課・補佐官		田賀 満雄	鳥取局・上席訟務官	
会計	主計係長	竹内 基晴					
会計	用度係長	宇野 秀穂					
会計	施設係長	武田 信夫	広島局・廿日市支局登記官		目 泰秀	下関総・戸籍係長	
会計	係員（登専）	岡崎さおり					
会計	係員（登専）	原田 俊峰					
会計	係員（登専）	吉野 寿					
会計	係員（登専）	浅海 公博	戸籍課・係員（登記専門職）		大木 華恵	戸籍課・係員（登記専門職）	
会計	係員（登専）	徳永 稔					
会計	電話交換手	田邊 康子					
					田中 清之	総務課	
登記	首席登記官	土田 洋介	岡山局・倉敷支局長		林 隆康	戸籍課長	
登記	統括登記官	三隅 信行	退職		金光 洋一	広島法人・統括登記官	
登記	統括登記官	金子 邦人	退職		松下 衛	周南登・統括登記官	
登記	総括表示登記専門官	沖田 昭	プロジェクト				
登記	表示登記専門官	泉 和三	広島不動産・表示登記専門官		河村 保	広島不動産・表示登記専門官	
登記	総務登記官	山本 房夫	周南登・統括登記官		國澤富三郎	下関登・総務登記官	
登記	総務登記官	大田 嘉勝					
登記	係員（訟務官）	藤井 隆弘					
登記	係員（訟務官）	高松 恵子					
登記	登記相談官	藤井 茂	下関登・登記官		猪俣 忠弘	登記・登記相談官	
登記	登記相談官	猪俣 忠弘	登記・登記相談官（昇格）		原田 隆男	供託・供託係長	
登記	登記専門職	川口 覚					
登記	登記専門職	玉田 秀樹	防府・登記専門職		平尾 輝彦	美祢・登記調査官	登記調査官
登記	登記専門職	藤井 裕子	萩・登記専門職	3 / 25付け	尾中さやか	宇部登・登記専門職	3/25付け
登記	係員	山下 友和					
登記					田中 博幸	システム管理官付(登記専門職)	プロジェクト・登記専門職
戸籍	課長	林 隆康	首席登記官		難波 正保	広島不動産・統括登記官	
戸籍	戸籍係長	岡村 邦子					
戸籍	国籍係長	野村 博之					
戸籍	係員（登専）	大木 華恵	会計課・係員（登記専門職）		浅海 公博	会計課・係員（登記専門職）	
戸籍	係員（登専）	小川 智之					
供託	課長	西村 和子					
供託	供託係長	原田 隆男	登記・登記相談官		金子 志明	下関総・供託専門職	
供託	供託専門職	岡村 幸治					

所属	職名	氏名	転出先	備考	後任者	所属・職名	備考
訟務	上席訟務官(総括)	富永 勝盛					
訟務	上席訟務官	三宅 啓一	岡山備前・統括登記官		青井 好博	宇部登・統括登記官	
訟務	訟務官	中村 公洋					
訟務	係員(登調)	大島 穰					
人権	課長	大野 政徳					
人権	人権擁護係長	池永 真					
人権	人権相談主任	尾中 芳孝	美祢・登記専門職		中原 健二	下関登・登記専門職	
人権	係員	鳥取 裕子	岡山備前・係員		平田 美鈴	萩・登記専門職	係員(登専)
分室	システム管理官	山縣 龍彦	広島人権・第二課長		小寺 安己	岡山不動産・統括登記官	
分室	管理官付(登専)	田中 博幸	登記・登記専門職・プロジェクト		若槻 千明	宇部登・登記専門職	
分室	管理官付(登専)	古谷 訓					
防府	支局長	藤井 照夫	退職		中島 久士	広島人権・第二課長	
防府	総務係長	山重 基晴					
防府	統括登記官	西村 昭博					
防府	登記官	井上 貴之					
防府	登記官	中島 正善					
防府	登記調査官	田中 義則					
防府	登記専門職	横山 孝秀	周南登・登記専門職		玉田 秀樹	登記・登記専門職	
防府	登記専門職	柏 葉子					
防府	登記専門職	吉岡 昌紀					
防府	登記専門職	小田桐香苗	総務・係員(登記専門職)	3/25付け庶務係へ	藤村 昌代	周南登・登記専門職	3/25付け
防府	登記専門職	齊藤由美子					
周南	支局長	安田 譲					
周南	総務課長	林 彰夫					
周南	総務係長	齋藤 春洋					
周南	係員(登専)	後藤 鋭輝	萩・登記専門職		吉村 康成	岩国・登記専門職	
周南	係員	神本美奈子					
周南	統括登記官	松下 衛	登記・統括登記官		山本 房夫	登記・総務登記官	
周南	表示登記専門官	重田 勉					
周南	総務登記官	梅尾 隆	広島不動産・総務登記官		山本 智之	萩・登記官	
周南	登記官	高井 静子	下関登・登記官		村田 光男	宇部登・登記官	
周南	登記官	木村 学					
周南	登記調査官	町田 圭司					
周南	登記調査官	藤木 修	柳井出・登記調査官		不 補 充		
周南	登記専門職	福田 和幸	岩国・登記専門職		横山 孝秀	防府・登記専門職	
周南	登記専門職	藤村 昌代	防府・登記専門職	3/25付け	伊藤 守	萩・登記専門職	3/25付け
周南	登記専門職	野村 博子	柳井出・登記専門職	4/1復職	浅井 芳枝	柳井出・登記専門職	
周南	登記専門職	山根 忠相					
周南	登記専門職	笹部 哲哉	下関登・登記専門職	3/25付け	安達多恵子	総務・係員(登記専門職)	3/25付け
周南	登記専門職	伊藤美代子					
周南	登記専門職	橋崎佳寿美					
周南	登記専門職	潮 竜治					
周南	係員	乗富 勇二					
萩	支局長	永田 一義	宇部支局長		丸山 永	鳥取・システム管理官	
萩	総務係長	原田 邦夫					
萩	統括登記官	藤田 英夫					
萩	登記官	山本 智之	周南登・総務登記官		後藤 鋭輝	周南総・係員(登記専門職)	登記専門職

所属	職名	氏名	転出先	備考	後任者	所属・職名	備考
萩	登記官	井上 進					
萩	登記専門職	伊藤 守	周南登・登記専門職	3/25付け	藤井 裕子	登記・登記専門職	3/25付け
萩	登記専門職	隈井 隆之					
萩	登記専門職	中村 英樹					
萩	登記専門職	亀岡 紀恵					
萩	登記専門職	平田 美鈴	人権・係員（登記専門職）		柳 晋一郎	総務・係員（登記専門職）	
萩	登記専門職	宗樂 徳啓	宇部登・登記専門職	3/25付け	不 補 充		
岩国	支局長	平元 勝一	退職		前田 武司	広島・登記情報システム管理官	
岩国	支局長補佐	原澤 源一					
岩国	総務係長	瓜生 広志	広島民事訟務・訟務官		曾根恵美子	岩国・登記調査官	
岩国	統括登記官	岡藤 康通					
岩国	総務登記官	安友 源六	広島尾道・統括登記官		新谷 實	岡山笠岡・総務登記官	
岩国	登記官	竹内 芳行					
岩国	登記官	荒瀬 哲治					
岩国	登記調査官	曾根恵美子	岩国・総務係長		濱本 一夫	柳井・登記専門職	
岩国	登記専門職	前田 利隆					
岩国	登記専門職	吉村 康成	周南総・係員（登記専門職）		福田 和幸	周南登・登記専門職	
岩国	登記専門職	奥田 郁江					
岩国	係員	中林恵美子					
岩国	係員	藤田 一茂	神戸局・西宮支局登		不 補 充		
岩国	係員	村岡 昇一					
下関	支局長	小山 稔					
下関	総務課長	落合 生男	松江・登記情報システム管理官		稲田久美男	広島会計・主計係長	
下関	民事専門官	増山 和男					
下関	戸籍係長	目 泰秀	会計・施設係長		林 嗣朗	宇部総・係員（登記専門職）	
下関	供託専門職	金子 忠明	供託・供託係長		徳田 浩	下関登・登記専門職	
下関	係員（登専）	東 裕美子	下関登・登記専門職	4/1復職	中菅 典子	宇部登・登記専門職	
下関	統括登記官	野崎 芳夫	岡山津山・統括登記官		日下 和志	岡山津山・統括登記官	
下関	表示登記専門官	浅原 勉					
下関	総務登記官	國澤富三郎	登記・総務登記官		小泉 智照	岡山倉敷登・総務登記官	
下関	登記官	武吉 勲	宇部登・登記官		高井 静子	周南登・登記官	
下関	登記官	津森 正義	長門出張所・登記官（所長）		藤井 茂	登記・登記相談官	
下関	登記官	安立 直徳					
下関	登記相談官	岡崎 輝雄					
下関	登記専門職	宮村美代子	下関登・登記調査官				
下関	登記専門職	徳田 浩	下関総・供託専門職		東 裕美子	下関総・係員（登記専門職）	
下関	登記専門職	中原 健二	人権・主任		不 補 充		
下関	登記専門職	工藤 育恵		4/1復職			
下関	登記専門職	伊藤 一弘	総務・係員（登記専門職）	3/25付け人事係へ	笹部 哲哉	周南登・登記専門職	3/25付け
下関	登記専門職	楠木 妙子	宇部登・登記専門職		金沢 稔英	宇部登・登記調査官	登記調査官
下関	登記専門職	柏 昌充					
下関	係員	岡本 嘉高					
下関	係員	丸岡健太郎					
宇部	支局長	石田 正勝	退職		永田 一義	萩・支局長	
宇部	総務課長	田中 明彦					
宇部	総務係長	古川 信明					
宇部	係員（登専）	林 嗣朗	下関総・戸籍係長		喜島 成和	広島法人・登記専門職	

所属	職名	氏名	転出先	備考	後任者	所属・職名	備考
宇部	係員(登専)	木坂 英明					
宇部	係員(登専)	沼 真佐人					
宇部	統括登記官	青井 好博	訟務・上席訟務官		藤永 幸成	広島三原出・登記官(所長)	
宇部	表示登記専門官	有吉 清					
宇部	総務登記官	井上 諭					
宇部	登記官	村田 光男	周南登・登記官		武吉 勲	下関登・登記官	
宇部	登記官	松原 基祐	広島庶務係長		石崎 司	広島租税訟務・訟務官	
宇部	登記相談官	吉村智恵子					
宇部	登記調査官	金沢 稔英	下関登・登記調査官		勝部 泰和	柳井・登記調査官	
宇部	登記専門職	若槻 千明	システム管理官(登記専門職)		楠木 妙子	下関登・登記専門職	
宇部	登記専門職	中菅 典子	下関総・係員(登記専門職)	4/1復職	露梨めぐみ	岡山新見・係員	係員
宇部	登記専門職	尾中さやか	登記・登記専門職	3/25付け	宗樂 徳啓	萩・登記専門職	3/25付け
宇部	登記専門職	門屋 香織					
宇部	登記専門職	板村 智寛					
宇部	係員	井上謙一郎					
宇部	係員	寺地 裕美					
美祿	登記官(所長)	田中 哲治					
美祿	登記調査官	平尾 輝彦	登記・登記調査官		尾中 芳孝	人権・主任	登記専門職
美祿	係員	長谷 直樹					
長門	登記官(所長)	岡本 隆	松江登記・表示登記専門官		津森 正義	下関登・登記官	
長門	登記調査官	山田謙治郎					
長門	登記専門職	堀 奈々絵					
長門	係員	松原 康隆					
柳井	登記官(所長)	江口 知行					
柳井	登記官	山本 隆					
柳井	登記調査官	勝部 泰和	宇部登・登記調査官		藤木 修	周南登・登記調査官	
柳井	登記専門職	濱本 一夫	岩国・登記調査官		野村 博子	周南登・登記専門職	
柳井	登記専門職	行武 要					
柳井	登記専門職	浅井 芳枝	周南登・登記専門職		八木 滋	広島廿日市・係員	係員
柳井	登記専門職	田村 京子					
柳井	登記専門職	宮尾 昌樹					

広報部からの お知らせ

1. ホームページ及びメールアドレスの変更について

山口県土地家屋調査士会のホームページが新しくなりました。

新しくなったホームページを是非みてください。

また、Eメールアドレスとホームページアドレスも下記のとおり変更になりました。

尚、旧アドレスでも1年くらいの間は引き続き使用できます。

旧Eメール	yamatyo@orange.ocn.ne.jp
旧URL	http://www1.ocn.ne.jp/~yamatyo/
新Eメール	yamatyo@chousashi.net
新URL	http://www.chousashi.net/

2. 定時総会案内

第57回定時総会の日時が決定しました。多くの会員の方の参加をお願いします。

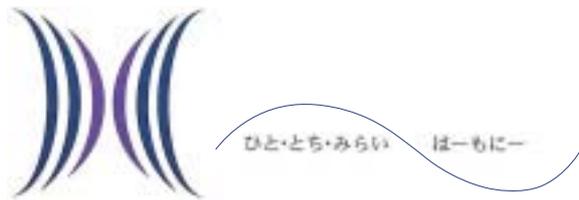
日時	平成16年5月26日(水曜日) 受付10時から 開会10時30分から 閉会17時30分まで
----	--

場所	山口市惣太夫町1番15号 ぱるるプラザ山口
----	--------------------------

尚、今般総会にて清水英範先生の講演会を予定しております。

(土業ネットワーク研修会において、「これからのIT社会を考える」“もう一つの電子国土、江戸・明治への旅と近未来”を演題として講演をされた東京大学工学部教授です)

発行 山口県土地家屋調査士会
〒753 0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922 - 5975
F A X (083) 925 - 8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
振替 01590 - 5 - 11085
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 瀬口 潤二
広報担当副会長 西本 聡士
広報部長 無敵 良和
理 事 富永 弘
" 藤本 精二
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www1.ocn.ne.jp/yamatyo/>
Eメールyamatyo@orange.ocn.ne.jp